

第33回 由利本荘市行政改革推進委員会

開催日時 令和5年3月27日（月）午後3時00分～午後4時30分

開催場所 由利本荘市役所 5階 第8会議室

出席委員（敬称略）

委員長 佐藤 茂 良（秋田しんせい農業協同組合 代表理事専務）

副委員長 水野 衛（秋田県立大学システム科学技術学部 学部長）

委員 前川 善隆（由利本荘市商工会青年部 部長）

委員 佐々木 奈美子（由利本荘市商工会女性部 副部長）

委員 大越 雄一郎（由利本荘青年会議所 理事長）

市出席者及び事務局

総務部長 小川 裕之

総務部行政改革推進課課長 小番 正明

総務部行政改革推進課参事 森 大樹

総務部行政改革推進課主査 工藤 慎悟

※「1. 開会」、「2. あいさつ」は事務局が進行。「3. 案件」以降は委員長が進行。

1. 開会

2. あいさつ

- ・佐藤委員長よりあいさつ。

3. 案件

（1）第4次行政改革大綱実施計画の進捗状況（見込）について「資料1」

- ・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】

（質問）（株）岩城は無くなってハピネッツに移ったということか。

（回答）（株）岩城は第三セクターとして設立されたが、昨年秋の道の駅岩城周辺施設の指定管理者に応募した際に、選定から外れた。（株）岩城には、指定管理料が主たる収入であったため、経営を維持できなくなり今月いっぱい解散を決定した。幸い、指定管理者に選定された（株）秋田ノーザンハピネッツ社が、（株）岩城の従業員で希望する方を相当数雇用するとお聞きしている。

（2）指定管理施設に対するモニタリングについて「資料2」

- ・事務局から資料に基づき説明

【質疑応答】無し

（3）本荘由利広域市町村圏組合の今後について「資料3」

- ・事務局から資料に基づき説明

- ・小川部長より補足…平成17年の合併で広域の構成団体が2市となったが、2市だけというのは県内でも珍しいと言われている。広域の共同処理事務は現在9つしか無いが、その前はたくさんあって、それぞれ、どちらかの市へ移管するなどして減少してきている。減少しているが、1つの団体なので管理部門も普通に置かれているし、施設管理も必要なので二重行政となっており、経費節減のため、今後は解散する方向で協議が進んでいる。

【質疑応答】

（質問）職員は市が採用していたのか。

(回答) 職員は、広域市町村圏組合が独自に採用していた。ただ、合併後に解散・統合の話があったため、近年はずっと新規採用していない。このため職員数は減少し、市から職員を派遣するなどして運営している。この後、解散すれば職員は公務員なので移管することになるが、おそらく由利本荘市が事業を引き取るとともに職員も引き取る形になると思われる。ただ、にかほ市さんへ移管する事業があれば、そちらのほうへ行く方もいると思われる。施設については、例えば広域行政センターは、本市の庁舎とつながっていることもあり、本市で管理する方向だし、基金などの財産や借金についても精算し、両市でどう分けるかも協議していく。

(質問) 進捗状況については、今後、この委員会でも報告があるのか。

(回答) 報告する。

(質問) 共同でやっていたメリットがあって、今度、解散するとそれぞれがやることになるが、お互いの協力や連携は続くのか。

(回答) 今やっている9事業をすべて、2市に分けるわけではない。今まで3者間でやっていたものに2者だけで取り組むということで、実質的な運営に変わりはないと思っている。現時点では、産学共同研究センターは本荘由利産学振興財団が運営しているが、それはまったく変わらない。唯一、分離になるのが介護保険になる。いろいろなやり方を検討する中で、それぞれで行うほうが効率がよいという最終結論に達した。その準備も含めて、今年度からこうした方針を作って令和8年度までかかって進めていく。市民レベルでは、まったく変わらないと思っていただいてもよい。し尿処理や埋め立て地のことは令和8年までで決着がつくものではないので、継続して協議していく。

(質問) 介護保険は市単位でやることが決まっているとして、国の医療DXはマイナンバーカードとの紐付けなど、進んでいるが、介護関連のDXは遅れており、それに併せての動きということか。

(回答) 介護保険業務の単独化については、国のシステム共通化ということがあり、今おっしゃったようなマイナンバーカードとの連携や、様々なデータを連携するにあたって、全国一緒のシステムで行う場合に、今までの広域によるしくみでは困難で、また、規模の関係から経費的にも掛かり増しとなるため、分離してやることになった。

(質問) 金額的に大きい動きがあると思うが、基金などの財産もにかほ市と分けるのか。

(回答) 両市が積み立ててきた基金については、一般的には被保険者数で分けることになると思うが、最終決着まではしていない。両市でしっかりと基金を持ちながら制度運用していくことになる。

4. その他

5. 閉会